

会議録

会議の名称	令和5年度 加古川流域滝野歴史民俗資料館運営委員会
開催日時	令和5年9月28日(木) 10時00分から11時30分まで
開催場所	加東市滝野公民館1階研修室(加東市下滝野1369番地)
出席及び欠席委員の氏名	(出席委員5人) 竹内康文、神戸滋和、山田将人、湖内克利、前田昭美 (欠席委員1人) 西山修三
説明のため出席した者の職氏名	無し
出席した事務局職員の氏名及びその職名	加東市教育委員会 教育振興部生涯学習課 課長)岸本孝司 副課長)大西直美 主査)藤原光平
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>I 会議内容</p> <p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 令和4年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の運営状況 ・にぎわい交流施設「h a l K」テーマ展示 12～1月 ・加東遺産講座 4月、7月、1月(朝光寺西本尊千手観音立像ほか) ・資料館講座/文化財教室 7月、12月(社・大塚遺跡ほか) ・出前講座 6回 <p>(2) 令和5年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料館無料開放事業 ・寄贈、寄託資料 ・にぎわい交流施設「h a l K」テーマ展示 2月(適塾 村上代三郎) ・加東遺産講座 ・資料館講座/文化財教室 ・その他 トライやるウィーク受入れ 10月 資料館玄関ドアヒンジ交換修理 5月 滝野地域小中一貫校建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 7～9月 <p>(3) 加古川流域滝野歴史民俗資料館の運営について</p> <p>4 寄贈資料等観覧</p> <p>5 閉 会</p> <p>II 会議の経過</p> <p>別紙のとおり</p>

(別紙)

令和5年度加古川流域滝野歴史民俗資料館運営委員会 会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	1 開会
事務局	2 挨拶
事務局	3 協議事項 (1) 令和4年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業報告について ・加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の運営状況 ・にぎわい交流施設「h a l K」テーマ展示 12～1月 ・加東遺産講座 4月、7月、1月（朝光寺西本尊千手観音立像ほか） ・資料館講座／文化財教室 7月、12月（社・大塚遺跡ほか） ・出前講座 6回 (2) 令和5年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業について ・資料館無料開放事業 ・寄贈、寄託資料 ・にぎわい交流施設「h a l K」テーマ展示 2月（適塾 村上代三郎） ・加東遺産講座 ・資料館講座／文化財教室 ・その他 トライやるウィーク受入れ 10月 資料館玄関ドアヒンジ交換修理 5月 滝野地域小中一貫校建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 7～9月 (3) 加古川流域滝野歴史民俗資料館の運営について ＜質疑・意見等＞
委員	資料館の無料化について、数年来提案しているがその後の進捗はあるのか。
事務局	関西広域連合主催事業や関西文化の日等への参加により無料開放を実施しており、現時点で恒常的な無料開放の実施は考えていない。
委員	前年に質疑に上った話題については次年度の会議で進捗を報告してほしい。
事務局	承知しました。
委員	資料館内の消防設備について、出入口が1か所しか設けられてない。法令上問題はないのか。また、消火器の種類についても粉末式では消火を行った際の資料への影響が高いと考えられ他の種類の方がよいのではないのか。
事務局	出入口が避難口を兼ねており、法令上は基準を満たしている。消火器の種類については確認・検討を行い対応する。資料館の設備自体が非常に古いものであり、将来にわたって現在の形態を維持するのは困難であると考えている。今後どのように運用していくかということについては、委員の方々の意見も聞きつつ方針を決めていきたい。
委員	講座の参加者数をもう少し増やすための方策を考えなければならないのではないのか。
事務局	メディア媒体などへの周知は行っているが、中々思うように参加者増に結び付いていない。関連団体への地道な周知・働きかけを続けるのが結果的に近道になると考えている。

委員	子どもの層に参加してもらうために、学校での資料館見学をもっと増やしてもらえるように働きかけてみてはどうか。
事務局	以前より学校での団体観覧は実施しており、コロナで一時中断していたものが戻りつつある。引き続き学校と連携をして団体での観覧を維持してもらえるよう調整していきたい。
委員	講座の案内を市内外の教育機関に配布してはどうか。
事務局	前向きに検討します。
委員	地区ごとの子どもの数が減少してきており、地域の昔ながらのモノに対する意識がどんどん薄れてきている。学校とも連携してそうした子どもたちや若い層への普及啓発を行うために資料館をもっと活用していくべきではないか。
事務局	地域への関わりとしては、出前講座などでまずはこちらから出向いて地域の特徴を説明する方が広い層の住民の方に参加してもらいやすく、内容を理解してもらいやすいと考えており積極的に推進していきたい。その上で、資料館へどのように誘導していくかという点については妙案がないので、今後も意見をいただきたい。
委員	資料館の展示は船や民具といった個別のテーマの事が多く、市や地域の歴史の変遷を知った上でそうしたテーマに進むのが順当のように思う。そうした意見に対してどのように考えるか。
事務局	おっしゃる通りで、加東市としての通史の紹介の部分で資料館の機能が弱いという特徴があります。そのため、令和3年度に同敷地内にある地域交流センター内に通史と地区ごとの文化遺産を紹介するパネル常設展を設けて暫定的に要望にお応えする措置をとっている。今後は2つの展示が一体的に見せられるような展開を考えていかなければならないと考えている。
<p>< 寄贈品の実物紹介 ></p>	
<p>4 寄贈資料等観覧</p>	
<p>5 閉会</p>	
<p>以 上</p>	